

中小企業成長支援ファンド
「BCM-VI 投資事業有限責任組合」
に出資を行う組合契約を締結

独立行政法人中小企業基盤整備機構（理事長：宮川正 本部：東京都港区）は、ファンド出資事業（中小企業成長支援ファンド）において、ベーシック・キャピタル・マネジメント株式会社が無限責任組合員として運営をする BCM-VI 投資事業有限責任組合に対して 60 億円の出資決定を行い、組合契約を締結しました。

「BCM-VI 投資事業有限責任組合」は、増加する国内中堅中小企業の事業承継や事業再編において、地域の核となる事業者や、特筆すべき技術・サービスを有する中堅中小企業への投資を実行し、徹底した経営支援を通して投資先企業に変化を促すと共に、潜在価値の顕現化、企業価値の向上を実現することで、日本各地で地域経済を支える優れた事業を永続的に維持成長させることを目的としています。

引き続き中小機構では、全国 9 カ所の地域本部等が有する支援ツール等を最大限に活用しながら、中小企業を支援して参ります。

＜独立行政法人中小企業基盤整備機構（中小機構）＞

中小機構は、事業の自律的發展や継続を目指す中小・小規模事業者・ベンチャー企業のイノベーションや地域経済の活性化を促進し、我が国経済の発展に貢献することを目的とする政策実施機関です。経営環境の変化に対応し持続的成長を目指す中小企業等の経営課題の解決に向け、直接的な伴走型支援、人材の育成、共済制度の運営、資金面での各種支援やビジネスチャンスの提供を行うとともに、関係する中小企業支援機関の支援力の向上に協力します。

＜本件に関するお問い合わせ先＞

独立行政法人 中小企業基盤整備機構

ファンド事業部 ファンド事業課（担当者：美細津、林）

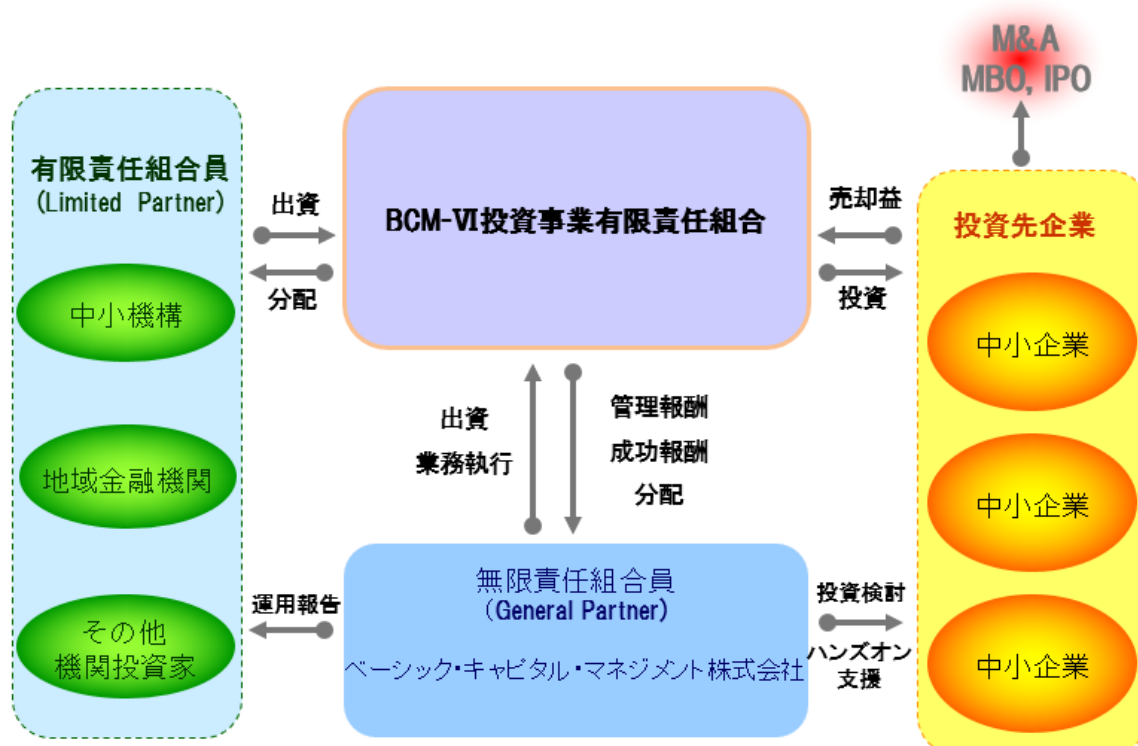
住所：東京都港区虎ノ門 3-5-1 虎ノ門 37 森ビル

電話：03-5470-1570（ダイヤルイン）

◆「BCM-VI 投資事業有限責任組合」の概要

- 「BCM-VI 投資事業有限責任組合」は、ベーシック・キャピタル・マネジメント株式会社（東京都中央区／代表取締役社長・金田 欧奈）が運営する、事業承継・再編を通じた支援を主目的とする投資ファンドです。
- ベーシック・キャピタル・マネジメント株式会社は、2002 年に国内中小企業を投資対象とするファンド運営会社として設立されました。20 年を超える業歴を有し、オーナーや投資先経営陣とのパートナーシップを重視することで、各投資先に応じたきめ細かく丁寧な支援を強みとしております。

<スキーム図>



<制度の内容及び実績について>

中小企業成長支援ファンドについて

https://www.smrj.go.jp/doc/supporter/supportter_fund_investment_02.pdf

中小機構ファンド出資実績

https://www.smrj.go.jp/doc/supporter/supportter_fund_investment_04.pdf